

とよなか国際交流センターおしらせ

VOL.82 とよなか国際交流センター広報誌 2016年1月



「寒さへ楽しさ」

清水 来未 (大阪府立池田高校2年生)

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会(指定管理者) ☎06-6843-4343 (水曜、年末年始を除く毎日、9:00~17:00)

1/8(金) 12:15~12:45

外国人のための体操講座

内容:豊中スポーツ振興事業団のスタッフを講師に迎えて、美容と健康のための体ほぐしエクササイズを行う。

定員:外国人20人(先着順)

1/16(土) 14:00~16:00

哲学カフェinとよなか国際交流センター

内容:「送ること、送られること」をテーマに、大阪大学大学院生・高原耕平さんの進行で対話を楽しむ。

定員:30人(要申込、先着順)



お正月も
申すまい
まじく
お正月も
まじく
まじく



HAPPY NEW YEAR 2016

1/23(土)
18:00~20:00

第8回 市民セミナー (語らい広場)のご案内

ご報告 多文化フェスティバルを実施しました!

2016年1月23日(土)とよなか国際交流センターにおいて、自主製作のDVD「ぼくと沖縄と みんな」の上映会を行います。

アメリカ人の祖父と日本人の祖母をルーツにもつ黒島トーマス友基さんが自分との出会い直しのために、沖縄へ愉快的仲間たちと旅立ちをしたものの、複雑な心境とともに大阪へ帰ってきました。そんなトーマスは過去から現在、そして未来への新たな旅立ちのために、このDVDを作成・上映することになりました。みなさんもトーマスの思いに触れ、それぞれの自分との出会い直しについて、語り合いたいと考えています。

【日時】

2016年1月23日(土)
18:00-20:00

【場所】とよなか国際交流センター

【参加費】無料(ワンコインカフェがあります)

第8回 市民セミナー(語らい広場)

「ナニジン? から3年、新たなDVD作品
『ぼくと沖縄と みんな』上映会
～夢と希望と挫折の場所「沖縄」の旅ものがたり～
語り:黒島トーマス友基さん(よなか国際交流センター・代表)

◇日時:2016年1月23日(土)18時~20時
◇会場:とよなか国際交流センター2ABC
◇費用:無料 ◇定員:30名(申込先着順)



11月28日(土)に多文化フェスティバル2015が開催されました。多文化フェスティバルとは、帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒、渡日外国人児童生徒など、国際にかかわる子どもや保護者、国際教育に関心のある先生がつどい、つながり、交流を深める年に1度のおまつりです(豊中市国際教育推進協議会との共催)。今年は企画を一新し、午前中に豊中市内の様々なところで行われている活動に参加している子どもたちやボランティアによる活動紹介や踊り、合唱が行われました。また、桜塚高校の美術授業受講生が牛乳パックなどの廃材を使って、協会のマスコット「コモとスース」を製作し、その作品が紹介されました。その後続いて、大きな布に好きな絵を描く「大きな絵巻物を作ろう!」という絵画ワークショップがありました。子どもたちは、子ども事業に携わるボランティアや桜塚高校の高校生と一緒に描きたい絵を自由に描いていました。筆やペンといった通常色を塗る道具を使うだけでなく、手や指を使って、色をつけていき、みんなで一枚の絵を作り上げていきました。また、参加者が機織り機に毛糸を通して、布を織っていくワークショップも行われました。お昼には協会事業に関わるタイや韓国のお母さん方が美味しい料理をふるまってくれました。毎年、市内をはじめ様々な地域から多くの方が参加していただき、新たな絆が芽生える機会となっています。



海外より

日本人、聞こえますか~?

(第3回)

中原田ブルーナ

外国人のための多言語相談サービス(ポルトガル語)多言語スタッフと、子ども事業コーディネーターをしていた中原田ブルーナさんが、2015年4月より故郷、ブラジルに滞在しています。ブルーナさんからのブラジル生活便りをどうぞ。

ブラジル日本移民史料館に行ってきました。サンパウロのリベルダージ地区にあります。リベルダージは日本人街と呼ばれている地区で、たくさんの日本食のレストランがあります。日本語がたくさん見られるところであり、街に提灯が飾ってあったり、信号機がのマークが鳥居になっていたりと、興味深いところです。日本人移民が減り、中国や韓国からの移民が増えてきたので最近では日本人街ではなく、東洋人街に変わりつつあるそうです。

ブラジル日本移民史料館は移民70周年祭の記念事業として1978年6月18日にオープン、当時の皇太子・明仁親王(今上天皇)と美智子妃、ガイゼル大統領(故人)によって開館されました・・・とホームページには書いてあります。私は高校のときに日本に渡りましたが、日本移民に関して興味はあまりありませんでした。大学のときに日系人について勉強を始めてから、何も知らない自分が恥ずかしく思いました。

この資料館には、名字を入力して自分の

先祖について調べられる検索システムがあります。この検索システムはとても面白く、名前を入力するだけで出身地、出発日、ブラジル到着日、行き先、船の名前などが出てきます。そして当時の移民が、船で2カ月ほどかけてブラジルへ渡航し、実際どのような生活を送っていたのかを見て想像できるので行ってよかったです。その話をおばあちゃんにすると、行ったことがないと言っていたので今度連れて行こうと思います。

おばあちゃんの話をとくさん聞くということがブラジルに帰る一つの理由でした。子どものころはおばあちゃんが市場で知り合いと日本語で話をしているのを見て、何もわからなかった私は全部聞き流していました。今回ブラジルに帰ってきて、おばあちゃんの歴史について聞きました。普段の生活をしていると、深い話はしないのでこういう大切なことを知らずに時間が過ぎていくと改めて感じました。日本では移民に関する本をとくさん読んでいたにも関わら

ず、おばあちゃんの話の聞いていなかったのもったいないことをしていたと気づかされました。

ブラジルはいま、経済問題、政治問題と様々な問題を抱えている時期なのですが、私はチャレンジングな仕事に就くことができたのでとても運がいいと思います。私にできることはないのかなと思いつつ、ブラジルにいる間はいろいろな経験をし自分を磨いていきたいと思っています。



写真右上: 入り口の看板



写真右下: 展示されている船の模型

ご報告 視察受入について

当センターでは、各団体からの視察を随時受け入れています。12月7日（月）は、大阪府内の私立高校の教員で構成される大阪私立学校人権教育研究会の皆さんにお越しいただき、当センターおよび協会の成り立ちや事業説明、館内案内などをおこないました。高校の先生方ということで、特に外国にルーツをもつ子ども・若者の居場所づくりや母語支援、表現活動などについて、社会的・歴史的な経緯などをふまえたお話をさせていただきました。また、学習につかえる日本語のサポートが必要な子どものための日本語教室「とよなかこども日本語教室」の指導にあたっておられる先生からも、子どもの日本語学習について常に子どもと関わって指導をされている先生ならではの視点からお話いただきました。参加者からは、「このようなセンターを自校の生徒に紹介したい」「様々な取組みがあって驚いた」「子どもの日本語学習について、これほど体系的な指導をされていることに感動した」などの感想を頂きました。視察の受け入れの詳細については、協会URLをご覧ください。



講義のようす

ご報告

メディアリテラシー市民ゼミナール:メディア入門講座 ～メディアで発見!こんなところに「日本人」を開催しました

12月12日と19日（土）に「メディア入門講座」を行いました。今年のテーマは、メディアの中につづる「日本」や「日本人」像を読み解いていく、というものです。1日目は、テレビニュースの分析を通じて、メディアリテラシー（メディアを読み書きする力）の基本概念を学びました。分析では、2つの局の同じ日・同じテーマのニュースを見比べたり、映し出されている映像や音声からどのようなことが読み取れるのかを話し合ったりしました。これまでじっくりと見たことのなかったニュース映像を、一場面ごとに分析し、グループ毎の話し合いを進めていくなかで「今までとは違ったニュースの見方ができるようになった」という声が聴かれました。2日目は、「世界」や「日本」という単語がタイトルになっている番組を鑑賞し、番組を通じてどのようなメッセージや価値観を視聴者は受け取っているか（メディアが伝えているメッセージ・価値観は何か）、などを話し合いました。「バラエティ番組として扱われていることが多いので、「日本」や「外国」について、面白おかしいオーバーな表現や誇張されたものなど多いのではないか」「外国人として日本に住んでいるので、海外に住む日本人を観ると励まされる」など、班ごとに様々な意見がでました。最後に、一人一人の市民がメディアで表現・発信をおこなっている例として、外国にルーツをもつ若者たちが製作したメディア映像作品の鑑賞を行いました。多様な考え方や価値観を誰もが発信できるという可能性を知り、「考えさせられ、何度も見たくなる映像だった」「自分も表現活動をしているので、励まされた」と、自分自身の表現や発信について改めて考えた人もいました。



会場のようす



なんぢや・カンチャ・言わせてもらえば（第82回）

「ユージン・スミスが照らす明日」

皇甫康子（ふぁんぼ・かんぢや）

書道の昇段試験もだめだった。韓国語の本も読まなかった。英語はまったく学習しなかった。ピアノや歌の練習もしなかった。多文化な新しい仕事を思いつかなかった。セーターは何年も編みかけのまま。刺繍やかご編みももう少しで完成なのに。思い返せば、後悔ばかりの年末になってしまいました。

今年は春から夏の初めまで、鬱々とした気持ちで過ごしました。自信を持って、仕事にも活動にも取り組んできたはずなのに、些細なことでつまずいてしまったのです。今やっていることに意味があるのか、自分が本当に必要とされているのか分からなくなり、出口のないトンネルにいるようでした。何もかもが面倒くさく、面白くなくて、朝起きて、仕事に行くのがやっとなのです。ほっとできるのは、休みの前日だけでした。映画やドラマを何時間も観たり、本を読んだりするのですが、日曜の夜には何もなかったことを後悔するという繰り返しでした。しなくてはいけないことがたくさんあるので、後ろ向きの気持ちのまま動いていたのですが、ようやく、夏のドイツ旅行で吹っ切ることができました。

旅は日常から離れ、普段つかわない神経や感性を蘇らせます。見たことのない

景色や建物、聞いたことのない音楽、言葉が通じないのも良いです。地図を見ながら、自力で目的地に到着すると、自分もなかなかできるじゃないかと思えます。言葉が分からなくても、バスや地下鉄を乗り継ぎ、自由に動けると、ドキドキする緊張感が薄れます。今まで、旅先で何度か大変な目に遭いましたが、どんな時でも冷静に判断できる人はすごいです。そうなるためには、かなりの経験と研鑽を積んでいなくてはなりません。

考えてみれば、外国から日本にきた保護者や子どもたちの力はすごいです。言葉も習慣も異なる場所で、生き抜いている姿が目には浮かびます。植民地時代に日本にやってきた祖母は、困難に立ち向かって生きる人でした。朝鮮人への差別が厳しい時代に日本で生まれた母は、どんなに苛められても人間的な優しさを忘れない人でした。

こんな人たちの歴史が繋がって私がいるのですが、ついつい、大きな力を持った人たちだけが世の中を動かし、何を言っても変わらないという諦めの気持ちになってしまいます。そんな時、図書館で水俣の被害を写真で訴えた、ユージン・スミスの生涯を記した本「ユージン・スミス楽園へのあゆみ」（土方正志

著、偕成社）を見つけました。1993年初版の本ですが、2006年の改訂版を読みました。小中学生向きに書かれてあるので、ユージンが写真を撮るようになったきっかけや、小さな声を届けようとした志などが分かりやすく書かれてあります。沖縄戦で、日本軍の砲弾の爆風により全身を負傷した後遺症に悩まされ、水俣の患者たちと共に闘ったときに受けた暴行による痛みは激しく、死ぬまで彼を苦しめました。それでも、満身創痍で、水俣の写真の撮り続けました。自分の立場をまもるために、声を上げることが難しい人々取材してきた彼の生き方は、明日を照らす光です。歴史を変えるのは日々の暮らしの積み重ねだということ、思い出させてくれました。本を読み終えた電車の中で、熱いものが込み上げてきました。2015年の残された少ない日々を大切に、来年もベストを尽くそうと思います。



とよなか国際交流センターの事業について

定例事業(以下すべて参加費は無料です)

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「おまつり地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・インドネシア語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ大学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこにこ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるばづくりをしています。

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ドイツ語・日本語(ポルトガル語は予約制です)

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともっとつかえるにほんご」 月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」 木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」 金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようがちゃがちゃだん」 日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが出会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママ友づくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

・・・その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebook!ほぼ毎日更新中!「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間:午前9時~午後9時30分/業務受付時間:午前9時~午後5時 休館日:毎週水曜日、年末年始
 アクセス:阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から急行で11分)
 地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)
 〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-601 とよなか国際交流センター
 E-mail: atoms@a.zaqq.jp http://www.a-atoms.info

施設管理に関する業務:貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。

センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後5時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

部屋名	広さ (m ²)	定員 (人)	料金 (円)				設備
			午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:30	全日 9:00~21:30	
会議室1	41	18	520 2,600	720 3,600	640 3,200	1,880 9,400	ホワイトボード(小)
会議室2A	34	21	480 2,400	600 3,000	520 2,600	1,600 8,000	
会議室2B	65	48	840 4,200	1,120 5,600	1,000 5,000	2,960 14,800	
会議室2C	33	21	440 2,200	560 2,800	520 2,600	1,520 7,600	ホワイトボード(2ABC2BCを一室として使用する場合は不可)
会議室3	55	18	520 2,600	720 3,600	640 3,200	1,880 9,400	ホワイトボード(大)
会議室4	63	30	840 4,200	1,080 5,400	960 4,800	2,880 14,400	ホワイトボード(小)、流し台
会議室5	27	12	360 1,800	480 2,400	400 2,000	1,240 6,200	ホワイトボード(大)
和室	38	18	480 2,400	680 3,400	560 2,800	1,720 8,600	10畳
ギャラリー	18	-	240 1,200	320 1,600	280 1,400	840 4,200	壁画ガラスケース、ビクチャールール
プレイルーム1	57	20	880 4,400	1,160 5,800	1,040 5,200	3,080 15,400	子ども用トイレ
プレイルーム2A	43	15	680 3,400	880 4,400	760 3,800	2,320 11,600	子ども用トイレ、畳(一部)
プレイルーム2B	52	18	800 4,000	1,040 5,200	920 4,600	2,760 13,800	子ども用トイレ
音楽・健康づくりルーム	113	40	1,480 7,400	2,000 10,000	1,760 8,800	5,240 26,200	アンプライアビオ(必要な調律の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台)
料理室	90	30	9:00~13:00 1,720 8,600	13:30~17:30 1,720 8,600	18:00~21:30 1,560 7,800	9:00~21:30 5,000 25,000	調理台6台のうち昇降式調理台2個、準備室(ロッカー、洗面台、ホワイトボード)

備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用するときの料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用するときの料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含まず(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

◎国際交流の活動を応援します!◎

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)
 ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
 ・センター内の掲示板で情報提供できます
 ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。・・・など
 その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourokuguru-pu.html
 もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

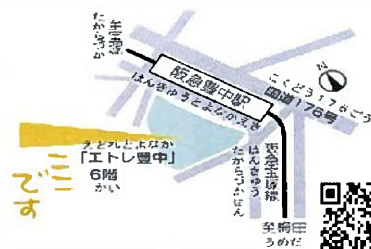
◎「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中です◎



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的機関は貸出料無料!詳細はHPもしくははお電話にてお問合せ下さい。



◎アクセス:阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分

